Y613-09508-00 Rev.A

corega

CG-WLBARGE

らくらく導入ガイド

このたびは、「CG-WLBARGE」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書は、本商品でインターネットに接続するまでの手順を紹介しています。本書と付属の「Q&A」をあわせてご覧になり、正しい設置・操作を行ってください。

本商品には「かんたんスタート」CD-ROMが付いています

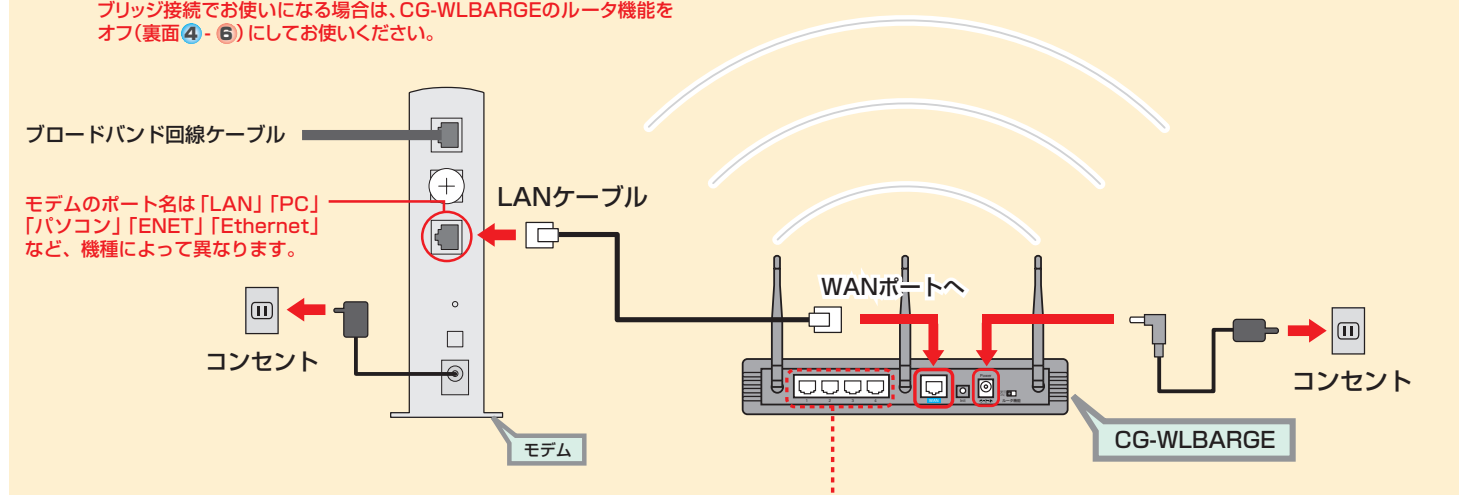
このCD-ROMを使うと…

- インターネットをはじめるための設定がかんたんにできます。
- 「同梱品一覧」や「各部の名称と機能」がご覧になれます。

はじめに、次のものが同梱されているか確認しましょう

- ☐ CG-WLBARGE 本体
- ☐ ACアダプタ
- ☐ かんたんスタート（CD-ROM）
- ☐ アンテナ×3
- ☐ スタンド
- ☐ 壁掛け用ネジセット（アンカ×2、ネジ×2）
- ☐ LANケーブル
- ☐ ロゴシール（※上面にお貼りください）
- ☐ らくらく導入ガイド（本書）
- ☐ Q&A
- ☐ コンテンツフィルタリングで安心インターネット
- ☐ 安全にお使いいただくためにお読みください
- ☐ 電波干渉注意ラベル
- ☐ 製品保証書

※万が一、欠品・不良などがございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

1 無線ルータ（親機）をパソコンとモデムにつなぎます

次の図のように、無線ルータをパソコンとモデムにつなぎます。

接続図

本商品が起動するまでにおよそ1分程度かかります。その間Status LEDが一度点灯しますので、消灯するまでしばらくお待ちください。

1 LANケーブルを、CG-WLBARGEのWANポートとモデムのLANポートに接続します。

ブリッジ接続でお使いになる場合は、CG-WLBARGEのルータ機能をオフ（裏面4 - 6）にしてお使いください。

2 本体にACアダプタを接続します。

有線でお使いになるパソコンがある場合は、パソコンとCG-WLBARGEのLANポートをLANケーブルで接続します。

注　意

本商品をお使いになる前に、モデムにパソコンを接続して使用されていた場合は、モデムの電源を切り、30分ほどたってから接続してください。

2 お使いの環境に合わせて親機と子機を接続します

環境により設定手順が異なります。次のフローチャートで手順を確認してください。

無線接続

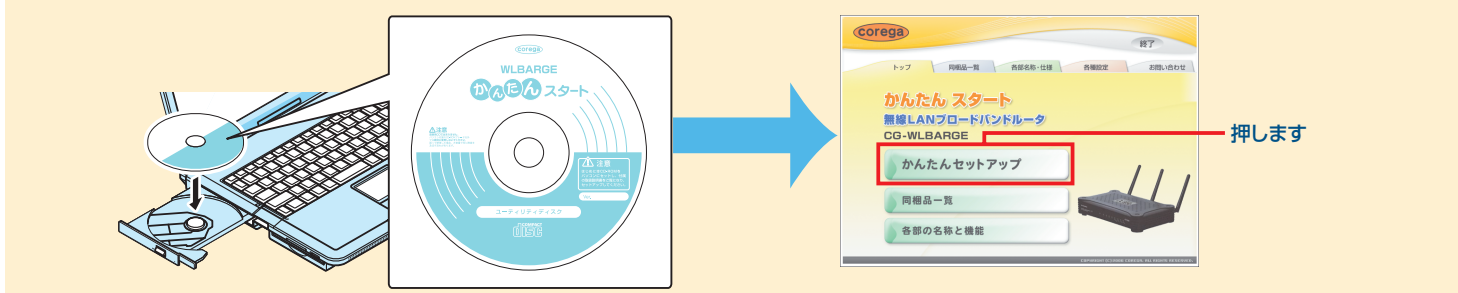
- **●コレガの無線LANアダプタを使用している場合** → お使いの無線LANアダプタの取扱説明書をご覧のうえ、「コレガ無線LANユーティリティ」でSSIDに接続します
  ※SSIDは本体底面の「無線アクセスポイント名」をご覧ください。
- **●無線LAN内蔵のパソコンを使用している場合** → 「Q＆A」（P.21～）をご覧のうえ、Windows XPの「ワイヤレスネットワーク」でSSIDに接続します
  ※SSIDは本体底面の「無線アクセスポイント名」をご覧ください。
- **●他メーカの無線LANアダプタを使用している場合** → お使いの無線LANアダプタの取扱説明書をご覧のうえ、付属のソフトウェアでSSIDに暗号化なしで接続します
  ※SSIDは本体底面の「無線アクセスポイント名」をご覧ください。

有線接続

パソコンと本商品をLANケーブルで接続します

接続できたら、3「かんたんスタート」CD-ROMをパソコンに入れます へ進みます

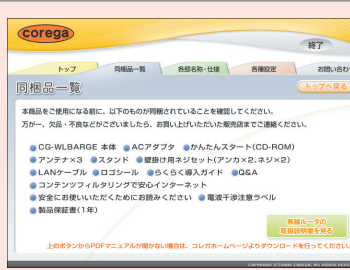
注　意

無線LANアダプタまたは無線LAN内蔵のパソコンを複数お持ちの場合は、はじめの1台のみ「かんたんルータセットアップ」を行ってください。

3 「かんたんスタート」CD-ROMをパソコンに入れます

「かんたんスタート」CD-ROMをパソコンに入れると、自動的に次の画面が表示されます（しばらく待っても表示されない場合は、「マイコンピュータ」のCD-ROMアイコンをダブルクリックしてください）。

パソコンのCD-ROMドライブに「かんたんスタート」を入れます。

「かんたんセットアップ」ボタンを押します。

注　意

ウィルス対策ソフトやセキュリティ対策ソフトがパソコンに入っている場合は、CD-ROMが起動しない場合があります。一時的に左記のソフトウェアを停止後、CD-ROMを起動してください。なお、ソフトウェアの停止方法については、各ソフトウェアメーカにお問い合わせください。

同梱品一覧

同梱品一覧をご覧になれます。

各部の名称と機能

各部の名称と機能や、製品仕様などをご覧になれます。

裏面に続きます

4 無線ルータに自分の環境を登録します

「かんたんルータセットアップ」ボタンを押し、表示された画面にしたがって次のように手順をすすめていきます。

1 「かんたんルータセットアップ」ボタンを押します。
このボタンを押します

2 無線通信が確立されていることをご確認の上、「はい」を押します
無線通信が確立されていることをご確認の上、「はい」を押します

3 「基本設定」ボタンを押します。
「基本設定」ボタンを押します

4 「次へ」ボタンを押します。
「次へ」ボタンを押します

5 「検出しました」と表示されたら、「次へ」ボタンを押します。
「次へ」ボタンを押します
●Windows XP SP2をお使いの場合は、セキュリティの警告画面が表示されることがあります。「ブロックを解除する」を押してお進みください。

6 ルータ機能の「ON/OFF」を選択し、「次へ」ボタンを押します。
「OFF」を選択した場合は、画面をご覧になりながらお進みください。
「次へ」ボタンを押します

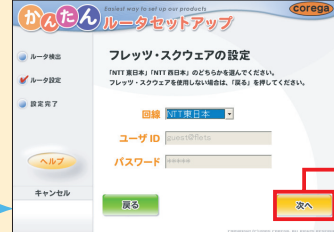
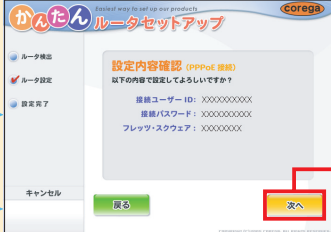
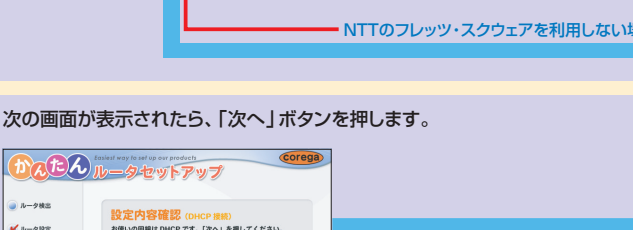
接続事業者やサービス内容によって、使用するモデムにルータ機能が搭載されているもの、搭載されていないものがあり、モデムの種類に合わせて本商品のルータ機能のON／OFFを切り替えていただく必要がありますので、次の表をご覧になり、本商品への設定方法をご確認ください。
※一部サービスで、モデムまたはIP電話機にルータ機能が搭載されている場合があります。その場合は、この画面で「ルータ機能」をOFFにしてください。

該当接続サービス名（一例）	本商品の設定
NTT東日本／西日本（Bフレッツ／フレッツ・ADSL）	ON（※一部サービスにより「OFF」）
東京電力（TEPCOひかり）	ON（※一部サービスにより「OFF」）
ケイ・オプティコム（eo光）	ON
九州通信ネットワーク（BBIQ）	ON（※一部サービスにより「OFF」）
USEN（GyaO 光）	ON（※一部サービスにより「OFF」）
Yahoo! BB	ON（※一部サービスにより「OFF」）
CATV各社サービス	ON（※一部サービスにより「OFF」）
NTT西日本（フレッツ・光プレミアム）／イー・アクセス／アッカ・ネットワークス	OFF
その他ADSL・FTTH接続サービス	ON（※一部サービスにより「OFF」）

次のような場合はご契約いただいたプロバイダまたは回線業者にご確認ください。
●モデムにルータ機能が搭載されているかわからない場合
●ご契約中の接続サービス名が上の表に記載されていない場合

7 検出された回線種別ごとに、それぞれ次のように手順をすすめます。

「PPPoE接続」の場合

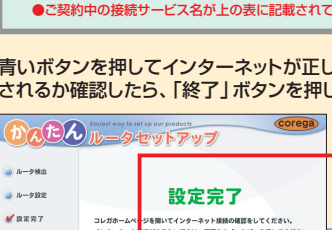
「接続ユーザーID」と「接続パスワード」を入力します。NTTのフレッツ・スクウェアを利用する場合は「フレッツ・スクウェアの設定」ボタンを押し、それ以外の場合は「次へ」ボタンを押します。

①「接続ユーザーID」を入力します
②接続パスワードを入力します
NTTのフレッツ・スクウェアを利用する場合
NTTのフレッツ・スクウェアを利用しない場合

フレッツ・スクウェアの設定をしたら、「次へ」ボタンを押します。
「次へ」ボタンを押します

次の画面が表示されたら、「次へ」ボタンを押します。
「次へ」ボタンを押します

「DHCP接続」の場合

次の画面が表示されたら、「次へ」ボタンを押します。
「次へ」ボタンを押します

「回線種別が検出できません」と表示された場合

5分ほど時間をおいてから再度同じ手順を行ってください。再び「回線種別が検出できません」と表示された場合は、付属の「Q&A」の「ルータの設定ができない」をご覧ください。

8 ユーザIDの欄に「root」と入力し、「次へ」ボタンを押します。
①「root」と入力します
②空欄のままにします
③「次へ」ボタンを押します

9 青いボタンを押してインターネットが正しく接続されるか確認したら、「終了」ボタンを押します。
①このボタンを押してインターネット接続の確認をします
②「終了」ボタンを押します

接続完了
※1、※2

※1. すべての手順が完了した後、セキュリティ強化のため手順8で設定した「ユーザID」と「パスワード」を変更することをおすすめします。設定方法については、「その他の設定方法」をご覧ください。
※2. 必要に応じて付属の「Q&A」をご覧ください。
●他にも無線LAN内蔵パソコンなどをお使いの場合 → P.21
●無線セキュリティ（暗号化）の手順 → P.18
●他社の無線LANアダプタについては → P.23

その他の設定方法

■「かんたんスタート」CD-ROMを使わない場合

1 本商品に接続したパソコンで、Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。

2 Webブラウザのアドレス入力欄に「192.168.1.1」と入力し、キーボードの「Enter」キーを押します。

アドレス(D) 192.168.1.1

3 ユーザ名とパスワードを入力する画面が表示されたら、ユーザ名の欄に「root」と入力し、パスワードは何も入力せずに「ログイン」ボタンを押します。

4 設定画面が表示されたら、左側のメニューの「簡単設定」を選択し「次へ」ボタンを押します。

5 「自動」を選択し、「次へ」ボタンを押して表示される画面にしたがって必要事項を入力します。

■「ユーザID」と「パスワード」の変更方法

ルータの「ユーザID」と「パスワード」を変更する場合は、左記の「■「かんたんスタート」CD-ROMを使わない場合」の手順1～3を行った後、画面左側のメニューから「管理」を選択し、「管理者ログイン名」、「管理者ログイン・パスワード」、「パスワードの確認」をそれぞれ半角英数12文字以内で入力し、「設定」ボタンを押します。

■さらにルータの機能を使いたい場合

ダイナミックDNSやバーチャルサーバなどのルータの機能を使いたい場合は、「取扱説明書」ボタンを押して「詳細設定ガイド」をダウンロードし、画面左側のメニューから設定したい項目を選択します。

製品仕様

サポート規格	無線LAN	（国際規格）IEEE802.11n（ドラフト）/IEEE802.11g/IEEE802.11b/IEEE802.11 （国内規格）ARIB STD-T66
	WAN	IEEE802.3u（100BASE-TX）/IEEE802.3（10BASE-T）
	LAN	IEEE802.3u（100BASE-TX）/IEEE802.3（10BASE-T）/IEEE802.3x（Flow Control）
取得承認		VCCI クラスB、技術基準適合証明
推奨ブラウザ		Internet Explorer 5.5以上/Safari 1.2以上
無線LAN仕様	周波数帯域	［IEEE802.11n（ドラフト）/g/b］2.412GHz～2.472GHz（中心周波数表示）
	チャンネル数	［IEEE802.11n（ドラフト）/g/b］13ch （1～13ch）
	伝送速度	［IEEE802.11n（ドラフト）］130/117/104/78/65/58.5/52/39/26/19.5/13/6.5Mbps ［IEEE802.11g］54/48/36/24/18/12/9/6Mbps ［IEEE802.11b］11/5.5/2/1Mbps
	伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重変調方式）、DS-SS（直接拡散型スペクトラム拡散方式）
	通信モード	Infrastructure（アクセスポイントモード）
	アンテナ形式	着脱式ダイポールアンテナ×3
	セキュリティ	SSID（IEEE802.11:ID（文字列）による識別）、 WEP（64/128/152bit）、 WPA-PSK（パーソナル）、WPA2-PSK（パーソナル）、 WPA-EAP(エンタープライズ：IEEE802.1x認証)、WPA2-EAP（エンタープライズ：IEEE802.1x）、 TKIP/AES（WPA/WPA2の設定内に含む）、 ステルスAP（SSID名隠蔽、ANY拒否）、 MACアドレスフィルタリング、 無線端末 <=> 有線端末、無線端末 <=> 無線端末間通信の有効/無効
WAN仕様	規格	100BASE-TX/10BASE-T、Full Duplex/Half Duplexオートネゴシエーション
	ポート	RJ-45×1ポート（MDI/MDI-X自動認識）
LAN仕様	規格	100BASE-TX/10BASE-T、Full Duplex/Half Duplexオートネゴシエーション
	ポート	RJ-45×4ポート（全ポートMDI/MDI-X自動認識）
電源仕様（ACアダプタ）	定格入力電圧	AC100V（50/60Hz）
	定格入力電流	500mA
最大消費電力		13.1W
環境条件	動作時	温度 0～40℃／湿度90%以下（結露なきこと）
	保管時	温度 -20～60℃／湿度95%以下（結露なきこと）
外形寸法		200（W）×119（D）×34（H）mm 本体のみ（アンテナ、突起部を含まず）
質量		360g 本体のみ

工場出荷時の設定

管理者設定	ユーザ名	root
	パスワード	（設定なし）
	システム名	CG-WLBARGE
ネットワーク設定	IPアドレス	192.168.1.1
	サブネットマスク	255.255.255.0
ワイヤレス基本設定	通信モード	Infrastructure
	SSID	本体底面に記載
	チャンネル	自動設定
	暗号化	無効
	802.11モード	自動

2006年9月 初版

本書は再生紙を使用しています。